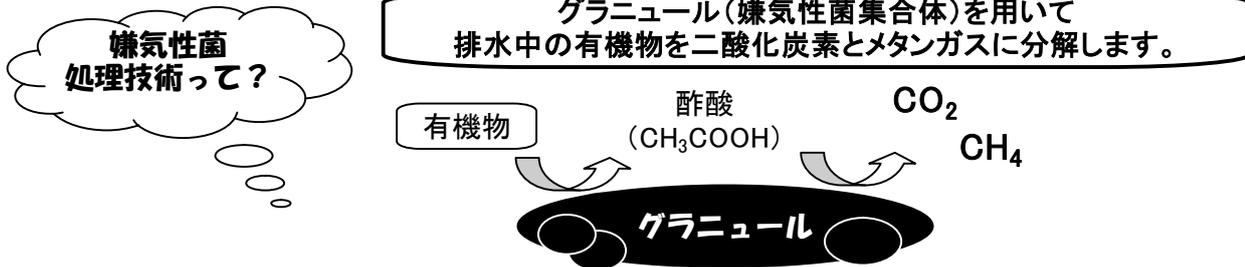


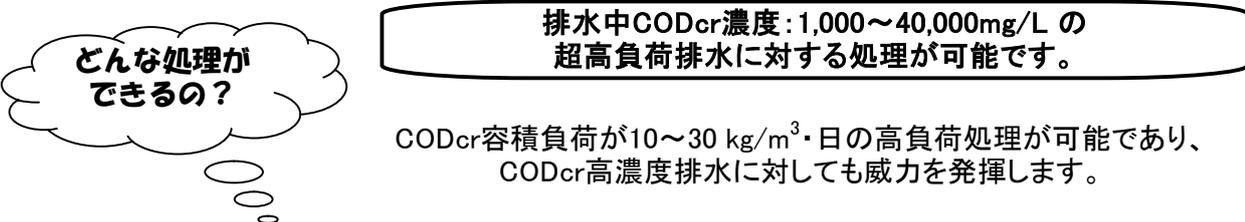
ミヤマの嫌気性菌処理技術

グラニュールを用いた、高負荷排水処理技術(N-UASB=西原社の技術)のご紹介

※N-UASB: Neo Upflow Anaerobic Sludge Bedの略。上向流嫌気性汚泥床。

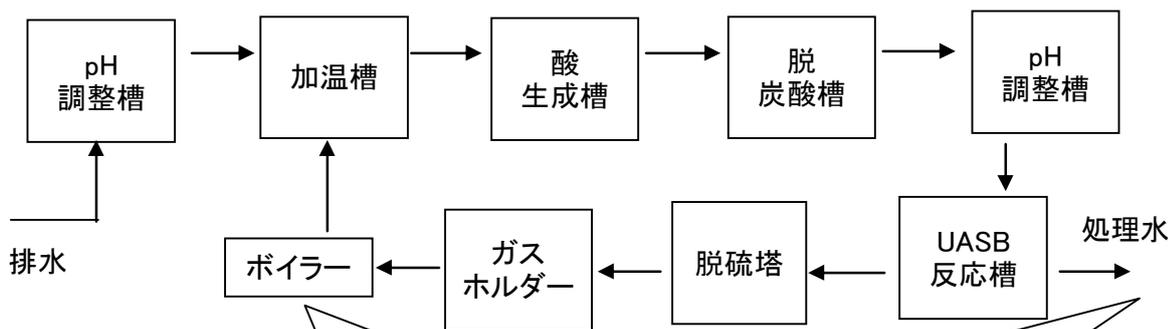


嫌気性菌の働きにより、有機物を最終的に二酸化炭素とメタンガスに分解します。嫌気処理ですので酸素が不要であり、曝気にかかるエネルギーがまったくありません。発生するメタンガスは、エネルギーとして回収可能であり、有効利用できます。



- 処理排水適用例**
- 食品加工排水
 - 繊維工業排水
 - 飲料製造排水
 - 油脂工業排水
 - 染色排水
 - 発酵・醸造排水
 - 化学工業排水
 - 製薬工業排水 等

嫌気排水処理装置のフロー例とメリット



発生したメタンガスはボイラーの燃料として使われ、加温槽のsteamとして利用できる！

処理水は既設の処理設備に接続することができ、既設の処理設備の負担を軽減できる！

排水中有機物の約70%がメタンガスに転換されるため、汚泥発生量が少ない！